

Study by TMT

# History-tellerのテーマ史講座

～北海道の歴史～



# (1)北海道と周辺の地理

- ・日本の北端
- ・都道府県面積は最大



## (2)原始（～B.C.2世紀）

- 本州と同様、旧石器時代が存在
  - ・ 氷期に、シベリアからマンモスやヘラジカが渡来
- さらに、縄文時代へ
  - ・ 亀ヶ岡文化[青森]の影響
  - ・ ストーンサークルが多く見つかる



### (3)原始時代以降の文化展開

- B.C.2c～ **続縄文文化**
  - ・ 北海道には水稻耕作が伝播せず
  - ・ 8世紀まで狩猟、採集、漁労の生活が続く
- 7c後半～ **擦文文化**
  - ・ 土師器の影響を受けて縄文土器が使われなくなる
- 12c～ **アイヌ文化**
- オホーツク海沿岸では、**オホーツク文化**が展開（3c～13c）



## (4)古代・中世（7世紀～16世紀）

- 奈良・平安時代 朝廷からは蝦夷（えみし）と呼ばれる
  - 阿倍比羅夫の遠征？
  - 出羽国との交易…十三湊
- 平安・鎌倉時代 朝廷からは蝦夷（えぞ）と呼ばれる
  - 日本人(和人)と交易を行い、鉄などを輸入



## (4)古代・中世（7世紀～16世紀）

- 13世紀前半 **安藤氏**が蝦夷管領に任ぜられる
  - 安藤氏は**十三湊**を拠点に、アイヌとの日本海交易を行う
    - ※14世紀前半に安藤氏の内紛が起こり、幕府滅亡の遠因に
- 和人の進出
  - 和人が蝦夷ヶ島に行き、港や館を築くようになる
    - 道南十二館**（志苔館、花沢館など）
  - アイヌの人々と交易し、利益をあげる



## (4)古代・中世（7世紀～16世紀）

- 1457年 **コシャマインの蜂起**
  - ・ アイヌ首長**コシャマイン**が道南十二館を相次いで攻め落とす  
→残存した花沢館の**蠣崎氏**の客将**武田信広**が鎮圧
  - ・ 武田信広は蠣崎氏を継ぐ  
→蠣崎氏は**豊臣秀吉**より蝦夷ヶ島主に認められる
- 1599年 **蠣崎慶広**が松前氏と改称



## (5)近世（17世紀～19世紀）

- 1604年 松前慶広の蝦夷地交易独占を江戸幕府が許可
  - 松前藩を形成し、商場知行制が導入される
    - 商場を知行地として家臣に与える仕組み
  - 俵物（いりこ・干し鮑・ふかひれ）の生産が盛ん
- 1669年 シャクシャインの戦い
  - シャクシャインが松前氏に反抗するも鎮圧される
  - これ以降、場所請負制の導入が急速に進む
    - 和人の商人に交易を任せ、家臣は運上金を受け取る





## (5)近世（17世紀～19世紀）

- 1778年 ロシア船が厚岸に来航し、通商要求
  - ・ 松前藩は拒否
  - ・ 工藤平助は『赤蝦夷風説考』を田沼意次に献上
    - 蝦夷地に最上徳内が派遣される
- 1789年 クナシリ・メナシの蜂起
  - ・ アイヌ最後の反乱／松前藩が鎮圧



## (5)近世（17世紀～19世紀）

- 1792年 ラクスマンが根室に来航
  - ・ 漂流民の大黒屋光太夫を返還し、通商要求  
→幕府は通商拒否／長崎入港許可証（信牌）を渡す
- 1798年 幕府は近藤重蔵と最上徳内を東蝦夷地に派遣
  - ・ 択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を建てる
- 1799年 幕府は東蝦夷地を直轄化
- 1800年 伊能忠敬の蝦夷地測量



## (5)近世（17世紀～19世紀）

- 1802年 蝦夷奉行設置／箱館奉行⇒松前奉行の流れで改称
- 1804年 レザノフが長崎に来航
  - 津太夫の返還と通商要求／幕府は通商を拒否  
→ロシアは樺太・択捉を攻撃
- 1807年 幕府は西蝦夷地を直轄化
  - 松前氏は、陸奥国伊達郡に転封



## (5)近世（17世紀～19世紀）

- 1808年 間宮林蔵の樺太探検
  - ・ 間宮海峡を発見（＝樺太が島であることを確認）
- 1811年 ゴローウニン事件
  - ・ ロシアのゴローウニンが国後島探検中に日本に捕らえられる
  - ・ 翌年にはロシアが高田屋嘉兵衛を捕らえる
    - 1813年にお互いの帰国を以って、無事に解決
- 1821年 蝦夷地が松前藩に返還され、松前奉行廃止



## (6)近代（幕末～明治）

- 1854年 日米和親条約
  - 下田と箱館の開港が取り決められる
- 1854年 日露和親条約…ロシア全権：プチャーチン
  - 下田と箱館に加えて、長崎の開港も決定
  - 択捉島と得撫島を日露の国境、樺太は両国人雑居の地に決定
  - 箱館奉行を再び設置
- 1855年 箱館開港、蝦夷地を幕府が再び直轄化



## (6)近代（幕末～明治）

- 1868年 箱館奉行を箱館裁判所に置き換え
  - ・ すぐに箱館府になる
- 1869年 五稜郭の戦い
  - ・ 榎本武揚率いる旧幕府軍が新政府軍に敗北（戊辰戦争終結）
- 1869年 開拓使設置、蝦夷地を北海道に改称
  - ・ 初代開拓使長官：鍋島直正



## (6)近代（幕末～明治）

- 1870年 樺太開拓使を設置
  - ・ロシアの樺太進出に対抗するために設置
  - ・黒田清隆が北海道開拓使次官に就任（1874年に、長官に）
- 1874年 屯田兵制度の発足
  - ・北方警備と開拓を目的とする
  - ・東北士族などから募集



## (6)近代（幕末～明治）

- 1875年 樺太・千島交換条約
  - ・ 日本全権：榎本武揚／ロシア全権：ゴルチャコフ
  - ・ 樺太をロシア領とし、千島列島を日本領とする
- 1876年 札幌農学校設立（現：北海道大学）
- 1876年 札幌麦酒醸造所（現：サッポロビール）





## (6)近代（幕末～明治）

- 1881年 開拓使官有物払下げ事件
  - ・ 開拓使長官黒田清隆が政商五代友厚に官有物を安値で払下げ  
→ 払下げ中止／大隈重信が罷免される  
→ 自由民権運動の影響もあって、国会開設の勅諭につながる
- 1882年 開拓使廃止
  - ・ 札幌県、函館県、根室県に分けられる



## (6)近代（幕末～明治）

- 1886年 北海道庁設置
  - ・ 北海道の3県を統合
- 1899年 北海道旧土人保護法
  - ・ 背景 開拓に伴うアイヌの生活への圧迫
  - ・ 目的 アイヌの救済と保護
- 1905年 ポーツマス条約
  - ・ 樺太の南半分が日本の領土になる



## (7)現代（戦後）

- 1945年 太平洋戦争の終結
  - ソ連の対日参戦（日ソ中立条約の一方的破棄）
  - 日本降伏後もソ連の侵攻が続き、北方四島や樺太を占領
- 1950年 北海道開発庁の設置
- 1951年 サンフランシスコ平和条約
  - 千島列島や樺太の領有を日本が放棄



## (7)現代（戦後）

- 1956年 **日ソ共同宣言**
  - ・日ソ国交回復／北方領土問題は解決せず
- 1967年 旭山動物園の開園
- 1972年 **札幌オリンピック**
  - ・アジア初の冬季オリンピック
- 1991年 ソ連が崩壊し、北方領土はロシアが引き継ぐ
- 1997年 **アイヌ文化振興法**
  - ・北海道旧土人保護法を廃止した上で制定



# 関連資料

Study by TMTに掲載している関連教材

- ・ 本授業のスライドPDF
- ・ 参考資料（穴埋め式／赤シート式）



Study by TMT

# History-tellerのテーマ史講座

～北海道の歴史～

